Model Courses

モデルコース紹介

Information icon

WC トイレ　展望台　P 駐車場

菩提寺Aコース 片道 約3.9km/約130分

菩提寺 → 約1.8km 約60分/約50分 → 1,010mピーク → 約1.5km 約50分/約40分 → 1,201m地点 → 約0.6km 約20分/約20分 → 那岐山山頂

菩提寺駐車場の西端に登山口の標識、ここからスタート。丸太階段の登山道を尾根づたいに登る。八巻城跡の標識があり、400mで城跡へ行ける。さらに登ると、1,010mのピークに着く。登山道はいったんグンと下がって、6合目となり（ここから400mで蛇淵コースの5合目に下がることができる）、いよいよ本峰への上りとなる。鞍部から標高300mほど登ると、道はゆるやかになり主稜線に出る。西に縦走すると『那岐山』石造標識のある那岐山最高峰(1,255m)に着く。

蛇淵Bコース 片道 約5.0km/約140分

山の駅 → 約1.0km 約20分/約20分 → 第1駐車場 → 約3.5km 約100分/約80分 → 菩提寺コース出合 → 約0.5km 約20分/約20分 → 那岐山山頂

第1駐車場から林道を登り左側の第3駐車場、右側『蛇淵の滝』の標識を過ぎ、『登山道入り口(B･Cコース)』の標識から右登山道に入る。B･Cコースの分岐を右に進み、沢に入る木橋を渡り沢の東側を沿うように登っていく。途中沢を渡って尾根に取り付くところに5合目の標識がある。この手前から菩提寺コースの6合目に行くことができる。5合目を過ぎ少し登ると二叉路があり、200mで黒滝に行くことができる。さらに上を目指し登っていくと、主稜線をなす県境尾根に至り、菩提寺コースと合流する。県境尾根づたいにコースを西に縦走すると『那岐山』石造標識のある1,255mの那岐山山頂に着く。

大神岩Cコース 片道 約4.7km/約140分

山の駅 → 約1.0km 約20分/約20分 → 第1駐車場 → 約2.3km 約60分/約50分 → 大神岩 → 約1.0km 約50分/約40分 → 那岐山三角点峰 → 約0.4km 約10分/約10分 → 那岐山山頂

第1駐車場から林道を登り左側に第3駐車場、右側『蛇淵の滝』の標識を過ぎ、『登山道入口(B･Cコース)』の標識から右登山道に入る。植林帯の中を進み林道に出る。林道を横切って進むと山道に入り標高800mの急な山道をジグザグに登り、落葉樹の林を抜けると大神岩（標高980m）に出る。落葉樹林の中の登山道を登り森林帯を抜けると、約10分で1,240mの3等三角点のあるなだらかな那岐山のピークに着く。この三角点から北東に縦走すれば避難小屋を経て、この連峰の最高峰(約1,255m)に着く。

滝山コース 片道 約2.4km/約125分

※みそぎ橋広場まで演習場内を通るが、演習中は通行出来ないので注意

みそぎ橋広場 → 約0.8km 約30分/約20分 → 滝神社 → 約1.5km 約90分/約60分 → 縦走路出合 → 約0.1km 約5分/約5分 → 滝山山頂

滝本郵便局信号から北へ『滝神社・滝山渓谷・那岐池』の標識がある道路を約1.3km進む。那岐池手前で道が2つに分かれる。右側に那岐池の堰堤が見えてくるので、池の西側の急な坂道を登る。那岐池の西側から三ツ池の東側を北に2kmほど進むと東西に走る道路に出る。右折し、100m先を左折して北に進み左のみそぎ橋を渡ると広場に着く。
石段を上がりスギ並木の中を歩くと5分程度で丸太橋を渡る。稲荷神社の赤い鳥居をくぐり、さらに石段を登ると絶壁下の洞窟の前に滝神社の本殿がある。左に約20mの雄滝が落ちていて、境内に『雄滝』『滝山・奥の院滝』の標識が立っている。滝山への登山道は、ブロック造りの小屋右上の岩に上がると、谷沿いにのびる。5分程登り、谷川を左に渡り尾根を出ると、三叉路に標識が立っている。『滝山』(右尾根道を登る方向)へ登山道をとると、やがて5合目の標識があり、ここからジグザグの登山道となりブナの林が広がる。『8合目』を過ぎ、ヒノキの林を抜けると稜線の縦走路に出る。標識があり右方向の那岐山の眺めは雄大。左に登ると滝山山頂の1,197mの1等三角点。

縦走コース 片道 約3.1km/約90分

那岐山山頂 → 約3.1km 約90分/約90分 → 滝山山頂

那岐山山頂（約1,255m）から西に向かうと避難小屋を経て標高1,240mの3等三角点につき、大神岩コースの分岐となる。ここから望む滝山方向の眺めは雄大で、滝山に向かい縦走路はしばらく下り坂となる。縦走路が設けられた主稜線上は一面のササ草原でヤマツツジの群落が点在している。このあたりの展望は岡山県側、鳥取県側ともに良好である。ここから滝山までの県境尾根上には小さな起状のピークが4つ連なり、縦走コースは緩やかな登りと下りが連続する。縦走路を西に進み2つ目のピークを登ると東屋に着く。さらに滝山をめざし縦走路を西に進むと、ミズナラの低木林の中も通るようになり、やがて滝山コースとの分岐点に出合う。分岐点から西は緩い登り坂で、登りつめると滝山山頂(1,197m)である。

推奨コース 中世の山城コース（遊歩道） 片道 約5.0km/約130分

山の駅 → 約1.3km 約40分/約40分 → 大別当城跡 → 約1.3km 約40分/約40分 → 八巻城跡 → 約2.4km 約50分/約50分 → 名木ノ城跡

04 大別当城跡 標高583m
（おおべっとうじょうせき）

大別当山の尾根伝いに残る中世の山城跡。南北に細長い山頂部に曲輪（くるわ）がいくつも並ぶ連郭式（れんかくしき）と呼ばれる構造で、堀切（ほりきり）も確認でき、東西は急峻な斜面で、自然の地形を巧みに利用している。また、麓のイムラ遺跡（高円構）は、城主、家臣団の暮らした跡と伝わっている。

05 吊り橋

車道で分断されている大別当山と八巻山を結ぶ吊り橋。延長は27m。

06 八巻城跡 標高724m
（はちまきじょうせき）

なだらかな山頂の地形を利用した中世の山城跡。いくつかの曲輪（くるわ）や堀切（ほりきり）、井戸などが確認できる。史実の多くは不明だが、奈義町一帯を見渡せる眺望は、当時の戦略、防備の要だったことが考えられる。

07 名木ノ城跡 標高720m
（なぎのじょうせき）

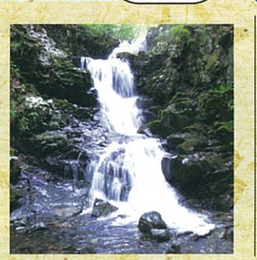
険阻な地形を利用した中世の山城跡。尾根を大きく断ち切って作られた堀切（ほりきり）があり、そこから南にはいくつかの曲輪（くるわ）を備え、小規模ながら堅固な城の姿がよく残っている。史実の多くは不明だが、中世の争乱期の緊張を現代に伝える遺構。

推奨コース 滝めぐりコース 片道1.3km/約45分

第2駐車場 → 約0.2km 約5分/約5分 → 蛇淵の滝 → 約0.8km 約27分/約27分 → 一の滝 → 約0.1km 約3分/約3分 → 二の滝 → 約0.2km 約10分/約10分 → 名木ノ城跡

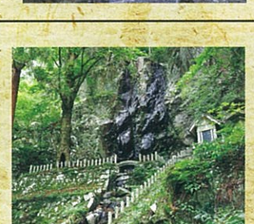
08 蛇淵の滝

登山口にある蛇淵渓谷は原生林に囲まれ轟を響かせている。地元に伝わる巨人伝説「三穂太郎（さんぶたろう）」の母である大蛇がこの淵の主であったとされている。



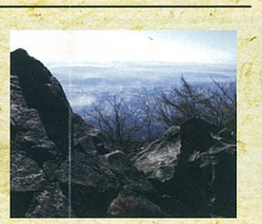
09 滝神社

滝山の中腹、絶壁下の洞窟の前に滝神社の本殿があり、左に約２０mの雄滝が落ちている。厳冬期には滝が凍結し、見事な景観を見せてくれる。



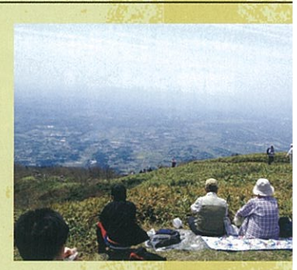
10 大神岩

標高980mにある大きな岩。この岩には那岐山が山岳修行の場であった名残か、「大日如来」と「不動明王」という文字が刻んである。また、岩の上に立つと広大な日本原高原の美しい眺めが展開する。



02 那岐山頂

山頂からの眺望がすばらしく、東に岡山県の最高峰・後山、西には大山が、空気の澄んだ天気のいい日には日本海や瀬戸内海の島々や遠く四国まで、360度の大パノラマ展望が楽しめる。南麓部には日本原高原の田園地帯を広く見下ろすことが出来る。



01 滝山展望台

展望台から南側には日本原高原の町並みやため池が広がり、また北側には山々の稜線を一望できる素晴らしい展望が広がっている。

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を複製したものである。（承認番号　平26情複、第1009号）